

徳島県英語指導研究会 令和5年度活動報告

徳島県立城ノ内中等教育学校 和泉 太輔

1 はじめに

本研究会は、活動の目的として次の2点を掲げている。1つ目が、英語教育における指導法・実践研究等の研修環境を外国語学会会員へ提供すること。2つ目が、学習指導要領における授業実践に向けて、英語ディベートの県内の普及を推進することである。今年度は、活動を2つ目のディベート活動の県内普及に焦点を絞り活動を展開した。特に、パラメンタリーディベートの県内普及に力を注ぎ、四国で初めて、2月には HPDU の県大会を開催した。複数の学校でディベートの授業導入が進んでいる様子が伺え、少しずつではあるが興味を持ってくれる先生が増えていることを嬉しく思っている。より多くの先生が、英語ディベート活動を通して、生徒のスピーキング力向上を含めた4技能5領域の向上等に向けた授業実践へ興味を持っていただけたなら幸いである。

今年度、ご多忙中にもかかわらずご協力いただいた先生方に感謝の意を示すとともに、今年度の活動を振り返りながら、次年度への展望を考えたい。

2 活動記録

4月～ ①昨年度の課題の振り返り、今年度の年度計画の策定

②メーリングリスト参加依頼・調整

6月24日 パラメンタリーディベート生徒向けオンライン練習会（講師：河野周【聖光学院中高】）

6月～11月 第5回徳島県英語ディベート大会担当者会（複数回）（オンラインツール Zoom にて）

11月4日 第5回徳島県英語ディベート大会（オンラインツール Zoom にて）

議題：Resolved: That the Japanese government should legalize gestational surrogacy.

（日本政府は、代理出産を合法化すべきである。是か非か。）

参加校： 城東、徳島北、阿波、城ノ内中等 （計4校）

優勝：城ノ内中等教育学校 準優勝：徳島北高校

12月16～17日 第18回全国高校生英語ディベート大会 in 栃木

【徳島県代表：城ノ内中等、結果：42位 [64位中] (2勝1分3敗：5 votes)】

2月11日 徳島県英語ディベート大会（即興型）【HPDU 連盟杯徳島県予選】

（オンラインツール Zoom にて）

参加校：城東、徳島市立、徳島北、阿波、城ノ内中等 （計5校）

優勝：城ノ内中等 準優勝：徳島北

3 今年度の成果と課題

[成果]

- (1) 今年度も高校生英語ディベート日本代表ヘッドコーチの河野周先生を講師に招き、生徒対象のパラメンタリーディベート講習会を提供できた。
- (2) 英語ディベート（準備型）の全国大会での本県代表チームは昨年以上の成果を挙げられなかったが、パラメンタリーディベートのPDA全国大会では城ノ内中等教育学校が全国4位という輝かしい成果を挙げた。

[課題]

- (1) 組織の円滑な運営に向けて、運営スタッフが少ない点が課題である。興味を持っている先生が気軽に仲間に入れる雰囲気作りをしなくてはいけない。是非、興味のある先生方、一緒に活動しませんか？
- (2) 英語ディベート活動以外の英語指導研究の機会をほとんど今年度は提供できなかった。次年度の大きな課題である。

4 今後の展望

英語指導研究会としては、引き続き、英語ディベート（特にパラメンタリーディベート）の県内への普及に尽力するとともに、英語指導について教員が学び合う機会を定期的に提供する。オンラインを活用し、生産的かつ授業実践に活かすことができるセミナーを数多く提供し、徳島県英語教育の発展に貢献していきたい。加えて、その流れを四国全体に繋げ、徳島県が中心となり、四国全体の英語教育熱を高めていきたい。

また、今年度同様、運営スタッフ自身が世界基準の英語指導に精通できるようにスタッフの学びの会を定期的にとり、先生方のニーズに合わせた企画作りに尽力したい。

5 終わりに

今年度も無事に、昨年度と同様、県内外の多くの先生方のサポートをいただき、活動を終えることができた。今後も徳島県英語教育の発展に向けて、地道に継続した活動を行なっていきたい。今年度も無事に活動を終えられたのは、ディベートのセミナーやジャッジ、大会運営を引き受けてくださった先生方、小林学会長をはじめとする徳島県外国語学会所属の先生方のサポートのおかげである。この場をお借りしてお礼を言わせていただきたい。皆さま、今年度はご協力ありがとうございました。次年度もどうぞよろしく願いいたします。